

大会名 Competition	第36回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-108	Year Month Day Time 2023 年 5 月 4 日 14 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA <b>能代科技</b>	<table border="1"> <tr><td>23 1st 22</td></tr> <tr><td>23 2nd 27</td></tr> <tr><td>20 3rd 24</td></tr> <tr><td>15 4th 25</td></tr> <tr><td>0 T</td></tr> </table>	23 1st 22	23 2nd 27	20 3rd 24	15 4th 25	0 T	チームB <b>開志国際</b>
23 1st 22							
23 2nd 27							
20 3rd 24							
15 4th 25							
0 T							
81 ●		98 ○					

主審:Crew chief  
古川 俊和 福島  
副審:Umpire  
高橋 和也 宮城  
川熊 俊 宮城  
テーブルオフィシャル:Table officials  
能代高校女子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	中野 珠斗	cap	7	1	2	0	3	4	×	澤田 竜馬	cap	13	3	2	0	0
5	×	関口 創介		13	0	6	1	3	5	×	中島 遙希		19	0	8	3	1
6	×	大高 琉翔		21	1	9	0	2	6	/	フリッシュ ニコラス 聖		0	0	0	0	1
7	×	伊藤 賑一		9	2	1	1	1	7		平良 奏龍		-	-	-	-	0
8	/	佐藤 楓生		2	0	1	0	1	8		藤山 拓翔		-	-	-	-	0
9	×	小田 崑 柊斗		29	9	1	0	4	9		遠藤 地紘		-	-	-	-	0
10		山本 倭也		-	-	-	-	0	10	/	北村 優太		2	0	1	0	1
11		岸 真矢		-	-	-	-	0	11		北本 慶志		-	-	-	-	0
12		山本 威吹		-	-	-	-	0	12	×	千保 銀河		23	2	8	1	0
13		小玉 羽竜		-	-	-	-	0	13	×	平良 宗龍		18	1	7	1	1
14	/	見上 匠		0	0	0	0	0	14	×	NNEBUIFE KELVIN CHIEMELIE		22	1	9	1	3
15		山崎 七星		-	-	-	-	0	15		SANNI OLUMASEGUN FARUK		-	-	-	-	0
16		畠山 悠仁		-	-	-	-	0	16		矢作 悠吏		-	-	-	-	0
17		宮田 蒼羽		-	-	-	-	0	17	/	前田 ヘンリー 有聖		0	0	0	0	0
18		清水 祐清		-	-	-	-	0	18	/	小泉 俊介		1	0	0	1	0
コーチ		小松 元						0	コーチ		富樫 英樹						0
コーチ		長谷川 聡						0	コーチ		津野 祐樹						0
合計				81	13	20	2	14	合計				98	7	35	7	7

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

#### Score ranking[Team]

1	29	35.80%	小田 崑 柊斗
2	21	25.93%	大高 琉翔
3	13	16.05%	関口 創介

1	23	23.47%	千保 銀河
2	22	22.45%	NNEBUIFE KELVIN CHIEMELIE
3	19	19.39%	中島 遙希

#### Score ranking[Game]

1	29	小田 崑 柊斗	能代科技	2	23	千保 銀河	開志国際	3	22	NNEBUIFE KELVIN CHIEMELIE	開志国際
---	----	---------	------	---	----	-------	------	---	----	---------------------------	------

ここまで共に全勝(2勝0敗)と波に乗る両校の対戦。全国屈指の実力者を揃え前日も強豪校相手に序盤から大差をつけ勝利した開志国際に対し、能代科技が伝統の走るバスケットで流れを作れるか。前日、2試合合計54得点の能代科技#9小田崑に期待がかかる。

10序盤、能代科技#9小田崑の3Pで先手を取ると、速攻からの走るバスケットで得点しリードを奪う。開志国際も#14ネブフィの高さを活かし、リバウンドから好機を作り得点。1Qは両校が打ち合いを見せ、能代科技23-22開志国際とわずか1点差の接戦。

2Q、主導権を握りたい能代科技は#9小田崑が3本の3Pを沈めるなど積極果敢に攻める。一方の開志国際も抜け目なくリバウンド、スティールなど得点機会が確実に決める。取られたら取り返すシーソーゲームが展開され能代科技46-49開志国際とワンポゼッション差で後半へ折り返す。

3Q、開志国際は#12千保、#13平良を中心にインサイド、アウトサイド両方から得点でリードを奪う。離されたくない能代科技も#9小田崑が3連続3P、#5関口がゴール下での力強さを見せ着実に加点。しかし、試合巧者ぶりを発揮する開志国際が66-73と7点リードし4Qへ。

4Q、開志国際はディフェンスの強度を高め能代科技の得点を阻止。オフェンスも#13平良が躍動し、10点以上のリードを保ったまま終盤へ。逆転を信じ走り続ける能代科技は#9小田崑の連続3Pで応戦。しかし、能代科技の隙をつき確実に得点を重ねた開志国際が81-98で勝利した。

文責 【 高橋 俊哉 】